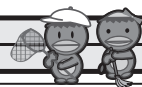


流域揭示板



川どうしに参加してみませんか？

日 時：令和7年12月13日(土)午前9:00～午前11:00
集合場所：東村山市立北山小学校正門前(北山えがお橋)

持ち物：タオルなど

以下のものは数セットを運営側で用意していますので、
は手ぶらでどうぞ！

軍手・ゴミ袋・ゴミ袋・ゴミ袋・長靴

※掲載元：北川かつばの会公式ホームページ
※詳細は右記二次元バーコードからホームページをご覧ください。



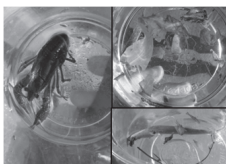
第21回川でつながる発表会を開催します！

令和7年12月13日(土)に「第21回川でつながる発表会」を開催いたします。午前は武蔵村山市内の歴史や水循環に関する現地の見学として武蔵村山市立野山北公園、空堀川、村山大島袖系水洗場を見学します。午後は新河岸川流域内で活動している中学生から大学生が、水質や生き物、環境などを対象にした様々な学習や活動などの成果を発表し、世代を超えた交流を行います。詳細は下記の二次元バーコードから、荒川下流河川事務所ホームページをご覧ください。

※昨年度は延べ53名が参加されました！

●プログラム

10:00	開会	
10:30	①見学会	武蔵村山市立野山北公園、空堀川、村山大島袖系水洗場を見学します。
13:00	②発表会・勉強会	新河岸川流域で活動する中学生から大学生が日頃の活動成果を発表します。さらに、勉強会として、東京都環境公社の方に「川の生物多様性と生態系保全」についてご講演いただきます。
15:10	③交流会	パネル展示などを通じ、参加者同士の世代を超えた交流を行います。
15:30	閉会式・表彰式・記念撮影	



※写真は昨年度開催の様子

事務局だより

令和7年11月4日(火)に第2回新河岸川流域川づくり連絡会をWEB会議形式で開催しました。第2回連絡会では、第1回連絡会が出された意見への対応事項や川でつながる発表会などについて協議しました。第3回連絡会は、年明け令和8年1～3月の開催を予定しています。



第2回連絡会の様子

川づくり連絡会に参加してみませんか？

令和8年度の新河岸川流域川づくり連絡会は、3回の開催を予定しています。参加希望の方は下記の連絡先までお問い合わせください。

しんぶん「里川」掲載情報を大募集します！

各地域での活動報告やイベント情報を募集しています。川に関する身近な情報などを FAX またははがきなどで下記連絡先までお寄せ下さい。

■ 連絡先 新河岸川流域川づくり連絡会 事務局
(国土交通省関東地方整備局 荒川下流河川事務所 流域治水課)
〒115-0042 東京都北区志茂5-41-1
TEL 03-3902-3220 FAX 03-3902-2346
URL https://www.ktr.mlit.go.jp/arage/arage_index044.html

THE SHINGASHI RIVER BASIN NEWS 新河岸川流域しんぶん



VOL. 107

発行 新河岸川流域川づくり連絡会 (荒川下流河川事務所 流域治水課)
住所 東京都北区志茂5-41-1 TEL03-3902-3220 FAX03-3902-2346
発行日 令和7年 (2025) 11月



浮島稲荷 片葉の葎

切り絵 毛利将範

切り絵の解説

川越・喜多院の北に「うきしま様」と親しまれている浮島稲荷神社があります。その周辺は、かつては「七つ釜」と言われ、豊かな清水が湧き出る沼沢地でした。むかし、川越城が攻められた折、乳母とともに逃げた姫が足を踏みはずし、七つ釜のひとつに落ちてしまいました。姫は、葎にとりすがりはい上ろうとしましたが、葎の葉がちぎれて姫は葎をつかんだまま水底へ沈んでしまったそうです。姫の恨みで、このあたりに生える葎の葉はどれも片葉であるという「片葉の葎」伝説があります。

目次

P2～3 新河岸川流域 イベント開催報告in2025

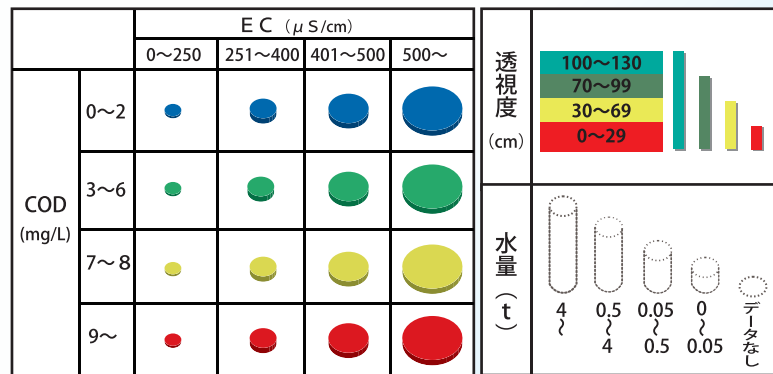
P4 流域揭示板/事務局だより

新河岸川水系 身近な川・里川の一斉調査

2025・6・8

近年、河川や水辺など身近な水環境の保全や修復に関する意識が高まっています。そこで、毎年全国で統一的な水質調査を実施するために、「身近な水環境の全国一斉調査」が行われています。

本マップでは、「身近な水環境の全国一斉調査」の日に新河岸川流域で実施した水質・水量調査の結果を紹介します。



2025一斉調査 新河岸川水系水環境連絡会参加団体

- あさか環境市民会議
- エコシティ志木
- 空堀川に清流を取り戻す会
- 空堀川を考える会
- 川クラブ
- 川づくり・清瀬の会
- 北川かつばの会
- 黒目川流域川づくり懇談会
- 黒目川に親しむ会
- 埼玉西部・土と水と空気を守る会
- 自由学園
- 白子川源流・水辺の会
- 白子川流域の水環境を良くする会
- 新河岸川水系水環境連絡会
- 砂川堀流域川づくり懇談会
- 生活クラブ生協 狭山支部
- 生活クラブ生協 所沢東支部
- 所沢北高校
- 新座川館
- 練馬水環境の会
- 法政大学
- 東久留米 ホテルを呼びもどす会
- 東久留米 ほとけどじょうを守る会
- 淵の森川掃除有志
- 不老川流域川づくり市民の会
- 三ヶ島梅林湧水
- 明法中学校・高等学校 科学部
- 柳瀬川をきれいにする会
- 山室湧水路の清流保全プロジェクト
- わくわく新河岸川みどりの会
- 和光自然環境を守る会
- NPO法人和光・緑と湧き水の会

(50音順)



水質の調査内容

調査方法と調査項目は、以下のとおりです。

- バックテストでpH・亜硝酸性窒素・アンモニア性窒素・COD
- EC計で電気伝導度
- クリーンメジャーで透視度
- メジャーで川幅・水深
- 目視で川の様子・生き物・植物等調査結果は、報告書にまとめています。

詳しくは新河岸川水系水環境連絡会まで連絡をお願いします。

- COD(化学的酸素要求量)
水中の有機物の量を示します。
汚れが多いと、CODの数値が高くなるため、水の汚れの指標とされます。
- EC(電気伝導度)
水中の無機イオンの総量を示します。
不純物が多いと数値は高くなります。
塩分が多い水ではECは高くなります。
- 透視度(Transparency)
目を見た水の透明の度合いを示します。
透視度が高い(130cm限)方が、きれいな水です。
種々の汚れのほか、細かい土が混ざっていても、透視度は下がります。

研究機関による水質の分析

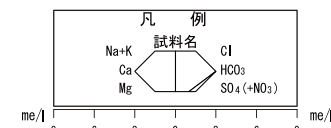
研究機関では、下記の指標を用いて、新河岸川流域の水質分析を行っています。

①主要溶存成分

水は主にNa⁺、K⁺、Ca²⁺、Mg²⁺の陽イオンとSO₄²⁻、NO₃⁻、HCO₃⁻、Cl⁻の陰イオンが溶けています。それぞれのイオンの濃度を軸にとり調査結果を示し、陽イオンと陰イオンのバランスを見ることで、水質の状態を知ることができます。この分析方法は“主要溶存成分水質分析”と呼ばれます。

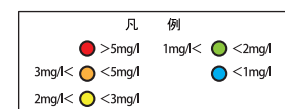
●主要溶存成分水質分析 (シュレティフダイアグラム)

NO₃の濃度が大きいと調査地点上流域に農地があり、農業用の肥料の成分が地下水や湧水を通じて河川水質に影響を与えている可能性が高いことが読みとれます。



②TOC(全有機炭素)

TOCは、水中に溶けている有機炭素の総量を示す指標であり、TC(全炭素)とIC(イオン炭素)を測定して差分から求めます。有機物が多いと数値が高くなります。



水質調査の様子

新河岸川流域川づくり連絡会 / 東京都北区志茂5-4-1-1
(事務局：国土交通省荒川下流河川事務所流域治水課) / 電話 03-3902-3220

データ提供 新河岸川水系水環境連絡会 埼玉県和光市本町31-12-406
電話 090-2642-9442

2025

新河岸川流域市民団体活動マップ



① 埼玉県立川越女子高等学校 生物部
埼玉県内の河川で外来種であるカワリヌマエビ属と在来種であるヌマエビの分布を調査し、準絶滅危種ヌマエビの保全を目指しています。また、外来生物問題や生物多様性について、広く皆さんに知ってもらうための活動を行っています。



② 山笠湧水路の清流保全プロジェクト
生き物調査を通じて、貴重な自然遺産の湧水路とホトケドジョウを守る活動を行っており、富士見市内の中学生がボランティア活動として参加してくれています。



③ エコシティ志木
水質調査は設立以来30年間参加しています。新河岸川・柳瀬川合流前と合流後に、荒川秋ヶ瀬取水堰・武蔵野台地崖線下湧水を加え、比較考察しています。



④ 空堀川に清流を取り戻す会
長い間東京都内で一番汚いといわれた空堀川に清流を取り戻したいという思いから1996年に立ち上げました。空堀川クリーンアップ、環境学習のお手伝い、空堀川・川まつり(鯉のぼりフェア)など、多彩な行事を行っています。



⑤ 空堀川を考える会

発足から20年を超えた東大和市の河川ボランティア団体です。清掃活動のほか、川まつりの開催、水質調査、プラスチックごみ調査、河川敷の空間放射線調査、いきもの調査なども行っています。公民館主催の展示会や東大和市主催の環境市民の集いに出席しています。



⑥ わくわく川掃除&川あそび実行委員会

わくわく川掃除&川あそびは東久留米の落合川で始まり、今年は黒目川で32年目を迎えました。竹の一本橋渡りなどの体験を通して、川の魅力や大切さを楽しく学ぶ活動を行っています。川掃除やアユの産卵場づくりにも取り組み、地域の自然を守り育てています。

新河岸川流域では、たくさんの市民団体が協力して川を守る活動に取り組んでいます。みんなの活動マップからわかるように、流域全体に多様な活動の輪が広がっています。

遊びながら川や自然のことがわかるようになったよ!

家族や友達と一緒に参加できるから、楽しく学べるね!



川でつながる発表会

毎年12月に新河岸川流域内で開催している発表会です。小学生から大学生や流域住民など、約50名参加し、学習の成果やボランティア活動の成果を発表・共有します。世代を超えて交流し、川や地域への理解を深めるイベントです。



⑦ 白子川源流・水辺の会

学校に通うのが難しい子どもたちを支える市民団体と協力して、川遊びの体験会を開催しています。子どもたちが白子川のせせらぎの中で楽しみ、自然の温もりを感じながら、仲間や会員との心の交流を育んでいます。網を手にザリガニや小魚を追いかける子どもたちの輝く瞳と無邪気な笑顔が、とても愛らしく心を温めてくれます。



⑧ NPO法人和光・緑と湧き水の会

和光市白子にある「富澤湧水」は、武蔵野台地末端部の特徴的な湧き水があり、その仕組みが学べる貴重なフィールドです。会では環境調査を行い、小学生の環境学習や観察会に活かし、身近な自然を知り、守り、活かす活動をしています。



★:2025一斉調査参加団体の拠点や主な活動場所

<身近な水環境の全国一斉調査>
同じ手法・同じ日に全国各地で市民による水質調査を実施し、その結果をマップとしてまとめる取り組みです。平成16年から全国水環境マップ実行委員会と国土交通省が協働で実施しており、新河岸川流域でも多くの団体が参加しています。

新河岸川流域川づくり連絡会

(事務局: 国土交通省荒川下流河川事務所流域治水課)

東京都北区志茂5-4-1-1 電話 03-3902-3220

データ提供 新河岸川水系水環境連絡会 埼玉県和光市本町31-2-406 電話 090-2642-9442